

# 令和4年度 第2回 総合教育会議 会議録

開催日 令和5年2月9日(木)

場 所 全員協議会室

出席者の氏名

町 長	靱山 芳輝		
教 育 長	加藤 雅也		
教育長職務代理者	永田 淑子	教 育 委 員	堤田 綾子
教 育 委 員	浅野俊太郎	教 育 委 員	小藤 省吾
総 務 部 長	竹内 誠一	企 画 部 長	池田 武彦
企画部次長兼企画政策課長	森田 良孝	教 育 部 長	靱山 英巳
教育部次長兼学校教育課長	榊原 全伸	生涯教育課長	伊藤誠一郎
ス ポ ー ツ 課 長	田中 孝往	学校教育課長補佐	藤井 千絵
指 導 主 事	岩田 圭司	指 導 主 事	神谷 俊輔
教 育 主 事	山口 大介		

## 1. 開会 午後3時00分

(教育部長)

皆様、こんにちは。本日はご多用の中、ご出席をいただき厚くお礼申し上げます。定刻になりましたので、只今から令和4年度第2回総合教育会議を始めます。

本日の会議につきましては、議事録を作成するため、録音をいたします。議事録につきましては、後日、町ホームページにて公表いたしますので、ご了解ください。また、本日の進行につきましては、お手元の次第に沿って進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

## 2. あいさつ

(教育部長)

それでは、靱山町長より、ごあいさつをお願いします。

(町 長)

皆さん こんにちは。武豊町長の靱山芳輝 です。

日頃は武豊町の教育の充実に向け、それぞれの立場からお力添えをいただき大変感謝申し上げます。また、本日は、令和4年度第2回武豊町総合教育会議にご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。

過去3年間新型コロナウイルス感染症の影響で様々なことが制限されておりましたが、本年度は、「産業まつり」や「公民館まつり」を行うことができました。また、一部ではありますが地域の祭礼も開催することができました。今後も、町民の皆様の絆や、つながりを深めるために、創意工夫を凝らして様々な事業を進めてまいります。

さて、教育関係といたしましては、今後、各小中学校の体育館、特別教室の空調設備の設置など、安全安心を意識した教育環境づくりに取り組んでいく予定です。さらに、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、学校照明器具のLED化なども進めてまいります。

本日は、「令和5年度の武豊町の教育指針」「制服改定」「部活動の地域移行化」について、現時点での報告をいたします。町といたしましても、来年度の教育活動のために、可能な限りの支援と共通理解の姿勢で、学校教育を支えてまいりたいと考えております。

本日ご参会のみなさまには、それぞれのご専門の立場から多くのご意見をいただきますようお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

(教育部長)

次に、加藤雅也教育長よりあいさつをいただきます。

(教育長)

みなさんこんにちは。教育長の加藤雅也でございます。本日は、令和4年度、第2回目の総合教育会議を開催いただき、ありがとうございます。

さて、今回は報告事項として3点をあげていただきました。1点目は、「令和5年学校教育の指針、重点施策」であります。来年度も「いのちの教育」を軸にした武豊の教育を引き続き、推進してまいります。学校で取り組むべき内容は多岐に渡っていますが、「重点努力目標及び、指導の重点」においては項目を精選し、表記をシンプルにいたしました。

2点目は「制服の改定」についてです。近隣の市では来年度より、ジェンダーレスを意識した制服の改定が行われます。同様に準備を進めている他市町もあります。本町においても、先頃アンケート実施し、今分析をしている最中です。その結果を基に、具体的に取り組んでまいりたいと考えています。

3点目は「部活動の地域移行化」についてであります。国は令和5年度から7年度にかけて、準備するよう方針を示しております。指導者の確保や、保護者の費用負担の問題等を今後、議論していく必要があります。県や他市町の動きを参考にしながら、「武豊版部活動の地域移行化」を進めてまいります。

以上、3点について担当から報告をさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

(教育部長)

本会議の出席者の確認につきましては、次第裏面にございます出席者名簿をもって代えさせていただきますので、ご了承ください。

### 3. 報告事項

(教育部長)

それでは、3.「報告事項」にうつります。(1)「令和5年度 学校教育の指針・重点施策」について、事務局からお願いします。

(指導主事)

失礼します。学校教育課 指導主事の岩田です。「令和5年度 学校教育の指針・重点

施策」について報告いたします。

「令和5年度 学校教育の指針」は、「学校教育の目標」「日々の教育活動を通じて育て上げていく子どもの姿」「日々の教育活動を通じて創りあげる具体的な学校の姿」の三つから構成されます。

来年度の「学校教育の目標」は、「自ら考え、行動し、主体的に生きる子どもの育成」と設定しました。そして、「日々の教育活動を通じて育て上げていく子どもの姿」は、「確かな学力、豊かな心、たくましい体」としました。続いて、「日々の教育活動を通じて創りあげる具体的な学校の姿」として、「子どもが通いたくなる学校」「保護者が通わせたい学校」「教職員が勤めたい学校」としました。

この三つの考えを受けて、令和5年度の教育活動における具体的な目標を、『いのちの教育』の推進・新たな教育課題への積極的取組」と設定しました。具体的な「重点努力目標」及び「指導の重点」を以下の①～⑤のとおりです。

- ① 「いのち」の教育を推進し、「いのち」を大切に子どもを育てます。
  - ・ 学校教育全般で「自他のいのちの尊重」等について意識できる場面を設けます。
  - ・ 「SOS出し方教育」等を実施します。
- ② すべての教職員が「特別支援教育の専門性」を高めることで、子ども一人一人を大切に教育の充実を行います。
  - ・ 研修、ケース会議の充実を図ります。
  - ・ 管理職等による校内でのOJTを促進します。
- ③ 不登校の子ども自立を目指して、組織的支援を行います。
  - ・ 関係諸機関と連携して、個に応じた支援を行います。
  - ・ 「校内・校外適応指導教室（教育支援センター）」を活用し、個に応じた支援の場を提供します。
- ④ ICT機器を活用した教育活動を推進します。
  - ・ タブレット型端末等の活用方法について、調査・研究をします。
  - ・ センターサーバーの効果的な活用について、調査・研究をします。
- ⑤ 教職員の働き方改革を推進します。
  - ・ 多忙化解消プラン策定委員会を継続設置し、必要な施策を検討・実施します。
  - ・ 休日の部活動の地域移行に向けて、協議・検討をします。

以上のことについて、学校・教育委員会が連携して取り組むことにより、児童生徒の健全な成長につなげていきたいと考えます。

**(教育部長)**

ありがとうございました。(2)「制服改定」について、事務局からお願いします。

**(指導主事)**

失礼します。指導主事の神谷です。「制服改定」について報告いたします。

制服改定の目的としては、大きく二つあります。一つ目が「暑さ、寒さへの対応」であり、二つ目が「時代への対応」です。1年を通して快適に過ごすことのできる制服の導入を目指すとともに、性別に捉われずに生徒が制服を選択できるようにすることを目

的としています。

本年度は、これまで3回の準備委員会を実施しました。また、1月には、保護者・町内小学生（4～6年生）・町内全中学生・教職員を対象に、制服改定についてのアンケートを実施しました。アンケートの結果からは、保護者・町内小中学生・教職員とも、制服改定を肯定的に捉えていることが分かります。

今後も、調査・研究を進め、制服改定についての議論を深めていきたいと考えます。

#### （教育部長）

只今の報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

#### （教育委員）

「ジェンダー平等の実現」という、時代の流れに対応したこのような取組を支持いたします。

#### （教育委員）

アンケート結果からは、65%の保護者が制服改定について肯定的に捉えていることが分かりました。しかし、35%の保護者は、否定的な立場に立っています。否定的な意見の背景には、何かあるのでしょうか。昨今の物価高による経済的な困窮も関係しているかもしれません。

制服改定は、時代の流れに即したよい取組と考えます。「ジェンダー平等の実現」等のよい点について、保護者に周知することも大切でしょう。そのようにして、多くの方々が納得した上で、制服改定に向けて取り組んでいただければと思います。

#### （教育部長）

他にはないようですので、次に（3）「部活動の地域移行化」について、事務局からお願いします。

#### （教育主事）

教育主事の山口です。「部活動の地域移行化」について報告いたします。

働き方改革の一環として、令和5年度以降、休日の部活動を、段階的に地域へ移行を図ることが文部科学省より示されました。

この流れを受けて、武豊町では、「部活動の地域移行化方針」を、「中学校の土日の部活動を従来通り継続させるのではなく、生徒が土日にスポーツ、文化芸術活動ができる場の確保に努めること」としました。

しかし、「部活動の地域移行化」は、一朝一夕にできるものではありません。以下の①～⑨に示すように、大きな課題があります。

- ① 指導者確保、生徒の受け皿の確保
- ② 地域クラブ移行にかかる試算と予算（案）作成
- ③ 保護者・生徒に受益者負担を求めるのかを含め、指導者の謝金など財源確保
- ④ 指導者資格の発行など指導者への研修機会の確保
- ⑤ ケガ・事故が起きた時の管理責任

- ⑥ 町内活動場所の把握、割り当て
- ⑦ 活動用具、備品の調達管理
- ⑧ 地域部活動移行に係るコーディネーターの人選や事務局などの地域クラブ活動を推進する組織づくり
- ⑨ 生徒、保護者への地域移行への周知などの広報活動

これらの課題の解決に向けて、令和5年3月に準備委員会を開く予定です。そして、令和5年度にはアンケートを実施し、「部活動の地域移行化」への周知を図っていきます。

また、財源の確保や、コーディネーターの人選を含めた地域移行化の組織づくりも行っていきます。そして、令和6年度にはモデルクラブによる先行実施を行い、令和7年度以降、準備が整ったクラブより拡大していく予定です。

他市町の動向も踏まえて、今後も調査・研究を進めてまいりたいと思います。以上で報告を終わります。

#### (教育部長)

只今の報告事項につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

#### (教育委員)

「部活動の地域移行化」に伴う指導者の確保の問題は、簡単には解決できない問題でしょう。子どもを指導して、成長につなげるという目的に鑑みると、指導者としてのふさわしい資質・能力を有していることが必要と考えます。

優れた指導者を確保するための方法の一つとして、企業との協力が挙げられます。町内を含め、知多半島にはスポーツ活動に力を入れている企業があります。そのような企業と連携して、優れた指導者の確保に努めることも検討してみたいでしょうか。

#### (教育委員)

大学と連携し、優秀な人材を指導者として活用することも問題解決に向けた方法の一つでしょう。知多半島には、いくつかの大学があります。そのような大学と連携し、スポーツに携わる教員志望の学生などを紹介してもらうことも、指導者の確保に向けた有効な手だてと言えるでしょう。

## 4. 意見交換

#### (教育部長)

続きまして、本来であれば協議事項にうつりますが、今回は協議事項はありませんので、そのまま次第5、意見交換に移ります。ご意見・ご質問がありましたら、発言をお願いします。

#### (教育委員)

令和5年度予算案では、学校教育関係費が大幅に増えています。各小中学校の体育館空調設備の設置や学校給食センターの建て替えなど、子ども・保護者に寄り添った予算案に感謝いたします。

#### (教育委員)

「武豊町学校教育の指針」の中に、「保護者が通わせたい学校」という記述があります。熱中症対策として教室への空調設備の設置、新型コロナウイルス対策として自動水栓の導入など、様々な町の施策は、「保護者が通わせたい学校」を体現していると言えます。このような町の対応に、多くの保護者が感謝をしていることでしょう。

#### (教育委員)

ある自治体では、企業からの寄附をもとに制服や文房具を購入し、経済的に困窮している家庭へ援助しているそうです。先程、「部活動の地域移行化」に向けて、企業との連携が効果的な手だてになるという話がありました。「制服改定」についても、企業との連携により経済的な協力を得ることは、実現に向けた大きな試金石になると考えます。

#### (教育委員)

武豊町の「部活動の地域移行化」の方針は、「生徒が土日にスポーツ、文化芸術活動ができる場の確保に努めること」という報告がありました。いわゆるスポーツ、文化芸術活動に「親しむこと」が目的と捉えます。一方、多くのクラブチームは、「勝つこと」を主眼としています。大切にしたいことは、子どもが自分の目的に合わせて「親しむこと」か「勝つこと」を選べる選択肢を用意することです。換言すると、個に応じた学びの場の提供ということです。

報告にあったように「部活動の地域移行化」には、様々な課題が累積していますが、解決に向けて努力している関係者の皆さまに心より感謝いたします。

しかし、現状の部活動の枠組みを大きく変える「部活動の地域移行化」は、賛成・反対を含めて多くの意見が出るのが予想されます。そのため、「部活動の地域移行化」の「目的」や「よさ」、「実現に向けた関係者の努力」などの情報を効果的に発信していくことが大切でしょう。そして、町関係者・子ども・保護者が一丸となって新しい時代に即した部活動の実現を目指していければと思います。

#### (教育委員)

「部活動の地域移行化」が円滑に行われるためには、その前段階として現状の部活動の「よい点」「問題点」を明らかにすることが必要でしょう。その上で、地域移行化の際には、「よい点」は継続し、「問題点」を改善していく姿勢で臨むことが大切と考えます。

指導者を確保するためには、町内中学校OBや高校OBなどの人材を確保できる仕組みを、町が組織化することも有効な方法の一つと考えます。様々なスポーツの分野で、武豊町出身者が活躍していると聞きます。そのような町出身の優れた人材をぜひ活用したいものです。

#### (教育委員)

熱中症対策、新型コロナウイルス感染症への対応、GIGAスクール構想の実現など、この数年、教育現場には大きな問題が次々に生じました。しかし、そのような状況でも、武豊町は迅速に対応し、問題を解決してきました。その背景には、粕山町長が学校現場に足を運び、その目で教育活動の様子を見たり、直接学校から意見を聞いたりしたことがあると考えます。粕山町長の「現場主義」の精神が、子どもたちの安全安心な学校生

活につながっていると言えるでしょう。そして、それは同時に、保護者の安心感も生み出していると言えます。

今後は、このような素晴らしい取組や姿勢を、今以上に町内外に発信をしていくことを望みます。それによって、武豊町のよさを多くの人に知っていただければ嬉しい限りです。

#### (総務部長)

日頃より大変お世話になっております。総務部長の竹内です。どうぞよろしくお願い致します。

本日は、令和5年度の予算編成の状況のうち、学校教育関係の予算につきまして報告をいたします。町長は、5期目のマニフェストで、教育環境の充実ということを掲げております。本日はその中の主な事業2点についてお話しします。

始めに、令和5年度予算の目玉事業の一つでもあります、小中学校の空調設備工事です。児童生徒が、健康で快適に学習や運動のできる環境を整えるため、小中学校の体育館、特別教室、中学校の武道場へ空調設備を設置する工事を行います。また、災害時の避難場所としての活用も考えております。

次に、学校給食センター施設整備工事基本設計委託です。現在の給食センターは、建築後47年が経過し老朽化が進んでいることから、移設して建て替えを行います。令和6年度に実施設計、令和7年度工事、令和8年度の供用開始を予定しています。

その他、施設の修繕や各種支援員などの人的な予算など、継続してまいります。教育費としましては、予算全体の2割程度で、民生費に次ぐ2番目の割合となっております。

以上、町予算に関する報告とさせていただきます。ありがとうございました。

#### (企画部長)

企画部長の池田です。よろしくお願い致します。

制服改定、部活動の地域移行などの報告事項をいただきました。特に部活動の地域移行については、予算の話も含め、体制など今後行政サイドとしましても、しっかりと検討すべき課題であると考えております。

情報共有として、公務員の定年延長についてお話をさせていただきます。各地の自治体で公務員の定年を2023年度(令和5年度)から段階的に延長するため、条例改正などの準備が進められております。本町におきましても、先の12月議会において関係条例の整備を行ったところであります。公務員の定年延長の導入には、少子高齢化が進む中、労働力を確保し、社会保障制度を維持しようとする背景があります。

定年延長により、現在は60歳とされる定年が2年に1歳ずつ引き上げられ、2031年度(令和13年度)に65歳となります。また、役職定年が導入されるため、管理職のポストにはつけないこととなり、給与も変わります。一方、移行期間中は、これまでの再任用職員と同様の働き方も選択できるようになります。

このように制度が変わる中、ある新聞の記事では「教育現場では教員が足りない状況。若手のサポートができるベテランが現場に残っていただけるとありがたい」といった、定年延長の効果に期待する声もあるそうです。ベテランに活躍して頂ける環境をいかに作るか、しばらく模索が続きそうです。

私からは以上です。

### (企画部次長兼企画政策課長)

企画部次長兼企画政策課長の森田です。よろしく申し上げます。私からは、子ども達のまちづくりへの参加についてご紹介いたします。

本町では、平成 25 年度から住民と行政が協働によりまちづくりを進める「協働のまちづくり事業」を進めています。本年度は9月と11月及び12月の3回に分けて、それぞれテーマを絞り、「協働のまちづくり楽校」として開催いたしました。

9月は、「SDGs カードゲームでまちの未来を考えよう」と題し、カードゲームを通してSDGsの視点から自分達のまちの未来について学びました。当日は親子連れも含め12名の小学生が公募により参加し、カードゲームを通してSDGsについても学び、まちづくりについての見識を広げてもらいました。

また、11月、12月には、「ゆめくりんでアイデアソン」と題し、令和5年度にゆめくりんで行うイベントを参加者と一緒に考え、実現に向けてアイデアを練るワークショップを行いました。

2日間とも親子連れを含め、9名の小学生の参加があり、工場見学を通してごみ処理や環境のことを学び、積極的な意見や柔軟な発想を展開して、参加していた大人たちも圧倒されていました。最終日には参加者各々が考えたアイデアをそれぞれ発表し、参加者全員で投票を行った結果、富貴小学校の4年生の児童のアイデアが見事1位を獲得し、表彰されました。

投票により得た上位3位のアイデアについては、来年度の事業実現化に向け、現在ゆめくりんの担当者と提案者で準備を進めています。採用された児童も準備から携わることとなり、自分のアイデアが実現していくことに大変喜んでいて聞いております。

今後も武豊町の将来を担う子ども達がまちづくりに参加出来る仕組みを考えていきたいと思っております。

私からは以上となります。

### (町 長)

本日は、いろいろな意見をいただき、ありがとうございました。今後の町政の参考にさせていただきたいと思っております。

さて、令和5年度より、臨海部企業が動き始めます。これによって財政的に若干の余裕が生まれるため、様々な事業に取り組む予定です。事業計画を立てる際には、「公平・平等」「すべての町民の幸せ」「安全安心なまちづくり」を基本方針としています。その基本方針に従って、まずは、「小中学校体育館への空調設備設置」「老人福祉センターの取り壊し」などを実施する予定です。

今後も、町民の皆さまの幸せのために、限りある予算の有効活用を行ってまいります。

「部活動の地域移行化」に関する報告の中で、指導者の確保が話題に上がりました。以前、経営者懇談会に参加した際、企業関係者と話をする機会がありました。様々な方と話をする中で、「地域スポーツの指導者として力を貸してくれる人はいませんか」と尋ねたことがあります。雑談としてはありますが、今後も、折を見ながら企業からの協力を得られるように、企業関係者へ話をしていきたいと思っております。

民間の調査による「住み続けたいまちランキング」で、武豊町は愛知県内で第3位、日本全国では110位という結果になりました。1,700以上ある全国の市町村の中で110位というのは大変うれしい結果です。

今後も、情報発信の効果的な方法について研究をし、HPやインスタグラム等を通して町の取組を発信していきたいと考えます。それによって、武豊町のよさをより多くの人々に伝えていきたいと思えます。

私は、折に触れて、役場の職員に「今日やれることは、今日やろう」という言葉を伝えています。「今日やれること」を、その日のうちに行うことと、明日まで伸ばすことは、他者へ与える心証が大きく異なります。「今日行うこと」は、誠実さの表れであり、他者からの信頼を高めることにつながります。

今後も、「今日やれることは、今日やろう」という心構えを大切にして、町民の皆さまから信頼されるように努めてまいりたいと考えます。

(教育部長)

貴重なご意見をありがとうございました。本日いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。

## 5. その他

(教育部長)

それでは、その他について、事務局お願いします。

(指導主事)

事務局より、2点連絡をさせていただきます。

1点目は、会の始めにもありましたが、本日の協議については、議事録を作成しホームページにて公表させていただきますので、ご承知おきください。

2点目です。今回は、令和5年9月7日午後3時00分から、全員協議会室での開催を予定しています。連絡は以上です。よろしくお願いいたします。

(教育部長)

その他、みなさまから何かございますか。

(教育部長)

ないようですので、これをもちまして、令和4年度第2回武豊町総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。